

変わっていく順序を読もう

たしかめ いっしょに やってみよう (3もん)

きょうの
めあて

時を表す言葉に注目して、変わっていく順序を読み取ろう

読む文章

- カブトムシのめすは、夏に土の中にたまごをうむ。
- たまごはしばらくすると、よう虫になる。よう虫は、秋から次の年の春まで、土の中で、くさった葉などを食べて大きくなる。
- 初夏になると、よう虫は土の中でさなぎになる。
- やがて、さなぎから成虫が出てきて、夏の夜に林の中を飛ぶようになる。

いっしょにやってみよう

れい いちばんはじめのすがたは？

① ①の段落を見る。

② 土の中に
うまれるのは たまご。

③ 答え たまご

やってみよう

できたところまでで OK

1 すがたが変わる順に、記号をならべよう。

ア さなぎ イ 成虫 ウ よう虫 エ たまご

2 よう虫が大きくなる時期は？

☐ 秋から次の年の春まで

☐ 夏の夜だけ

3 時を表す言葉を、本文から二つ書き写そう。

答え 1. エ→ウ→ア→イ 2. 秋から次の年の春まで 3. 例：夏に・初夏になると（秋から・やがて）

しくみを説明する文章

たしかめ --- いっしょに --- やってみよう (3もん)

きょうの
めあて

読む人がわかるように、もののしくみを順序よく説明しよう

説明する文章のれい

れい：じょうろで水をまくと、水は先の小さなあなから、細く分かれて出てくる。
あなが小さいので、水がいきおいよくいくつものすじになる。だから、土を
けずらずに、広くやさしく水をまける。

いっしょにやってみよう

れい この説明文は、どんな順序で書いている？

- ① 何が起こるか。 ▶ ② なぜそうなるか。 ▶ ③ その結果どうなるか。

やってみよう

♡ できたところまでで OK

① 説明に使われている、結果を表すつなぐ言葉は？

☐ だから ☐ しかし ☐ または

② 読む人にしくみが伝わるように、説明で気をつけるとよいことは？

☐ 順序よく、つなぐ言葉を使って書く

☐ 思いついたことをまとめずに書く

③ 身の回りの道具を一つ選んで、そのしくみやくふうを二文で説明しよう。

答え

1. だから 2. 順序よく、つなぐ言葉を使って書く

3. 例：せんたくばさみは、ばねの力でものをはさむ。指でおすと口が開き、はなすと とじる。

文の組み立てを図にしよう

🔍 たしかめ --- 🗨️ いっしょに --- ✎️ やってみよう (3もん)

📌 きょうの
めあて

主語・^{じゅつご}述語・^{しゅうしょくご}修飾語のつながりを
図に表して、文の組み立てをつかもう

🔍 文の組み立て

- 主語と^{じゅつご}述語が、文の^{しゅうしょくご}ほね組み。^{しゅうしょくご}修飾語は、主語や^{じゅつご}述語をくわしくする。

^{しゅうしょくご}修飾語 → ^{しゅうしょくご}主語 (どんな)

^{しゅうしょくご}修飾語 → ^{じゅつご}述語 (いつ・どこで・どのように)

🗨️ いっしょにやってみよう

れい 「夜空に星がきらきら光る。」の^{じゅつご}主語と^{じゅつご}述語は？

- ① ^{じゅつご}述語は「光る」。 ▶ ② 何が光る？ → 星が ▶ ③ ^{しゅうしょくご}主語 星が ^{じゅつご}述語 光る

✎️ やってみよう

♡ できたところまででOK

- ① 「夜空に星がきらきら光る。」で、「光る」をくわしくしている言葉を
二つ書こう。

- ② 文の組み立てが同じ文は？「海で魚がすいすい泳ぐ。」と同じ形

☐ 空で鳥がふわりととぶ。

☐ 大きな魚が泳ぐ。

- ③ 「朝鳥が元気に鳴く。」で、「鳴く」をくわしくしている言葉を□に書いて、
図を完成させよう。

→ 鳴く

→ 鳴く

答え 1. 夜空に・きらきら 2. 空で鳥がふわりととぶ。 3. 朝・元気に (順不同)

漢字（はかる）

たしかめ --- いっしょに --- やってみよう（3もん）

きょうの
めあて

はかることに使う漢字「^{たん}単・^{くらい}位・^{けい}径・^つ積」を読んで書こう

きょうの漢字

音 タン
単
たんい たんご
単位・単語

音 イ
訓 くらい
位
いち ひゃく くらい
位置・百の位

音 ケイ
ちようけい はんけい
径
左は ぎょうに
んべん

音 セキ
訓 つ(む)・
つ(もる)
めんせき ゆき つ
面積・雪が積もる

いっしょにやってみよう

れい 「ちようけい」の「けい」は どの漢字？

① 円の まん中を
通る線の長さ。

② 「イ」の字。
(ぎょうにんべん)

③ 答え 径

やってみよう

♡ できたところまでで OK

① 線の漢字の読みがなを書こう。

(1) センチメートルは、長さの単位だ。

(2) 百の位の数字を読む。

(3) 円の直径をはかる。

(4) 雪が積もる。

② □に漢字を書こう。

(1) ^{たん}□語カード

(2) 千の^{くらい}□

(3) 半^{けい}□をはかる。

(4) 石を^つ□む。

③ 円の「直径」は「半径」の何倍？

☐ 2倍

☐ 3倍

答え 1. (1) たん (2) くらい (3) けい (4) つ 2. (1) 単 (2) 位 (3) 径 (4) 積 3. 2倍

こじせいご むじゅん
故事成語「矛盾」

たしかめ いっしょに やってみよう (3もん)

きょうの
めあてこじせいご むじゅん
故事成語「矛盾」の元になった話を読んで、意味を知ろう

Q 元になった話 (「韓非子」という昔の本より)

昔の中国の楚^そという国に、矛^{ほこ}(やり)と盾^{たて}を売る人がいた。その人は、「この盾^{たて}はかたくて、どんなものでもつき通せない。」と言い、続けて「この矛^{ほこ}はするどくて、どんなものでもつき通す。」と言った。ある人が、「では、その矛^{ほこ}でその盾^{たて}をついたらどうなるのか。」とたずねると、売る人は答えられなかった。

A いっしょにやってみよう

れい 売る人は、なぜ答えられなかった？

① 盾^{たて}：何も
つき通せない。② 矛^{ほこ}：何でもつき通す。③ 二つが同時には
成り立たないから。

やってみよう

♥ できたところまでで OK

① 「矛盾^{むじゅん}」の意味は？☐ 前と後のつじつまが合わないこと☐ 強い武器^{ぶき}のこと② 「矛盾^{むじゅん}」している話は？☐ 「一度もちこくしたことがない。先週はちこくしたけど。」☐ 「毎朝早起きしている。だから、ちこくしない。」③ なぜ、上の話が「矛盾^{むじゅん}」したことになるのか。考えて書こう。

答え

1. 前と後のつじつまが合わないこと 2. 「一度もちこくしたことがない。先週はちこくしたけど。」

3. 例：一度もちこくしていないと言ったのに、先週ちこくしたと言っているから。